

自衛官募集相談員会「北海道上富良野・旭川駐屯地研修」を支援

対空ミサイル短SAMを
研修する募集相談員第2高射大隊長山口2佐と
募集相談員ら

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、11月15日から17日の3日間、横浜中央自衛官募集相談員会の部隊研修を支援した。

この研修は、自衛隊についての知識と理解の増進を目的に毎年実施されており、今回は齋藤会長以下7名が北海道にある自衛隊施設を訪れた。

1日目は、陸自上富良野駐屯地にて、概要説明を受けた後、90式戦車の体験試乗を行い、参加者たちはその乗り心地について貴重な体験と笑顔で話していた。

2日目は、陸自旭川駐屯地にて、広報担当者の案内により北鎮記念館を見学し、展示物を見ながらロシアの脅威と戦いつつ開拓に力を注いだ屯田兵についても学んだ。

体験喫食後、第2高射大隊を訪れた参加者は、大隊長山口2佐の歓迎を受けた。山口2佐は、本年7月まで神奈川地本募集課長を務め、募集相談員と一丸となり精力的に活動し成果をあげるなど、相談員とは懇意な間柄である。

大隊長から、87式自走高射機関砲、93式近距離地对空誘導弾及び81式短距離地对空誘導弾（改）（短SAM）の3つの装備品が揃っているのは、高射特科部隊の中でも旭川のみであるとの説明があり、隊員による短SAMのデモンストラーションでは、砲身の素早い動きに参加者たちは驚いている様子だった。

3日目は、札幌地方協力本部を訪れ、地本長より概要や募集状況などについて説明を受け、懇談では互いに意見を交わした。相談員は「貴重な体験をさせてもらい、有意義な研修となった」「募集相談員として更に見識を深めることができた」などと感想を述べていた。

横浜中央募集案内所は「部隊研修などを通じて、募集相談員の自衛隊への理解増進に努め、募集成果に繋げていきたい」としている。

神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式
「殉職隊員のご冥福を祈る」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 山野 太資）は、1月16日（木）、武山駐屯地においてしめやかに執り行われた「平成29年度神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式」を支援した。

追悼式では、神奈川県内に居住するご遺族のうち18名の御臨席のもと、陸海空殉職隊員59柱の御霊に對し哀悼の意を表し顕彰するとともに、ご遺族の末永いご健勝とご多幸を祈念した。

また、追悼式終了後は、近郊施設である「佐島マリナー」のレストランに会場を移し、小春日和の相模湾の景色を楽しみながらご遺族との懇親を深めた。

参加されたご遺族は、それぞれの近況などをお話されるとともに「久しぶりに皆さんにお会いできて嬉しかった」などの感想もあり、終始和やかな雰囲気での懇親会となった。

同地本は、遺族援護業務の重要性を改めて認識するとともに、ご遺族にとつて常に身近な存在でなければならないことを実感した一日であった。

